

鎌倉市新ごみ焼却施設意見聴取会議事録（概要）

日 時：平成 26 年 11 月 18 日（火） 18:30～20:00

場 所：鎌倉生涯学習センター ホール

参加者：26 名

市民 資料 4 で 4 箇所の候補地の活用できる用地面積はどのくらいか。名越クリーンセンターや今泉クリーンセンターの敷地と同程度であれば、複合施設など併設できないのではないか。

市 各候補地の有効面積は、野村総合研究所跡地 16,000 m²、深沢地域総合整備事業区域内市有地 50,000 m²の一部、山崎下水道終末処理場 8,000 m²・深沢クリーンセンター11,000 m²となっている。

市民 本来、ごみ焼却施設は、市のまちづくりや都市計画を策定する中でランドマーク的に熱源施設としていくべきで、今の進め方は本末転倒である。今後、建設を進めていくのであれば、熱や電気の利用先を明確にして、熱利用等として使用していくというイメージや方向性をもって進めていかなければならない。土地の広さも勘案し、施設全体像を入れ込んで、今後、市民に説明して欲しい。

市 熱や電気の利用先については、現在策定中の基本計画で整理し、説明していきたいと考えている。

市民 周辺環境の調査等は具体的にどのように行っていくのか。例えば、焼却施設の清掃時に発生する汚水の処理等、土壌や水質が汚染されれば、農作物等を通じて人が汚染されていく。測定方法や測定場所等については、施設が出来るときには、周辺住民とよく協議しうえて、示していただきたい。

市 測定方法や測定場所等については、周辺住民と十分に協議していききたいと考えている。

市民 公園、緑地は除外しているが、緑に関する法規制が多くある野村総合研究所跡地が候補から除外されないのは納得がいかない。また、今泉クリーンセンターは、約束があるからと除外しているが、野村の寄贈時にも約束があるはずである。

市 確かに野村総合研究所跡地周辺には、緑に関する法規制があるが、現在、土地利用されている部分にはその規制はない。文化・教養施設として活用して欲しいという寄贈者の意向は、承知しており、課題のひとつとして認識している。

市民 山崎下水道終末処理場の用地に係る国・県等からの補助額はいくらか。山崎下水道終末処理場を建設した時に、周辺住民に金銭補償をしていたと聞いているが、1 軒あたりの金額はいくらか。

市 国・県等からの補助額は把握していない。周辺住民への金銭補償についても認識していない。

市民 世界的に今後、食料不足が予想される。生ごみは、人の生命を支えた副産物であり、感謝をして処理されるべきものである。そういったことを子ども達に教育できる施設を併設したりし、逆に、施設が鎌倉市のシンボルとなるようなことを考えたり、観光ルートとすることを検討してはどうか。そういった点で、地理的にも野村総合研究所跡地が適地と考えられる。そのために必要となる高額な建設費については、資金を調達できる仕組みや寄付等も考えるべきではないかと思う。また、工事についての説明がなかったことは、残念である。

市 意見として拝聴する。

市民 基本構想を拝見した。新ごみ焼却施設は、還元施設等を併設するならば、そこへのアクセスも一緒に考えないと、いずれは来館者が来なくなる。また、焼却施設以外にあれもこれもできるようなことは言わず、もっと現実的な説明した方が良いと思う。逗子市との広域化の現状はどのようになっているのか。

市 逗子市とのごみ焼却施設の広域化については、焼却については、互いに焼却施設の延命化工事を実施しており、当面は各々で焼却処理していくこととしている。

市民 資料2で、パブリックコメントを行うとあるが、候補地を1箇所にした後に行うとは意味がないと思う、パブリックコメントの意義はあるのか。

市 候補地に関するだけでなく、ごみ焼却施設の建設に係る基本計画全体についてのパブリックコメントを行なう予定である。パブリックコメントを実施した後、その内容を勘案し、本基本計画を市の行政計画として位置付けていくために、意見公募を行うものである。

市民 4つの候補地があるが、どこの候補地であっても必要な建設費用は同額か。

市 焼却規模から概ね60億円と見込んでいるが、当然、立地条件や付帯工事などに候補地により金額は異なってくるものと認識している。

市民 費用の差は候補地選定の一因になり得ると考えて良いか。

市 候補地選定の一要因として扱うことはあると考えている。

市民 焼却残さの処理については、大阪や神戸で問題になった経緯がある。集じんしたばいじんや焼却残さの処理はどこへ埋め立てるのか。

市 現在、本市では10年ほど前から、ばいじんや焼却残さを最終処分場に埋め立てておらず、民間事業者と委託契約し、熔融固化処理というものを行って、路盤材などとして再利用しているため、埋め立ては行なっておらず、今後も熔融固化処理を継続し、焼却残さなどの埋め立ては行なわない考えである。

市民 説明では、併設施設や景観、発電、熱利用など聞こえのよいものばかりだが、焼却施設からの汚水や灰等の有害物質の処理方針についてもしっかりと固めて、説明すべきである。

市 ご指摘の点は、現在、審議している基本計画で、その中で、しっかりと説明していく。

市民 生ごみのバイオ化は検討していないのか。

市 現在は、生ごみ処理施設を造らずに、ごみの減量を進めていくという施策を進めており、仮に生ごみをバイオ処理しても、すべてのごみを処理することは出来ず、必ず、焼却するごみは生じることになる。そのため、安定的なごみ処理を継続していくためには、新たなごみ焼却施設の建設は必須のものと考えている。

市民 深沢地域総合整備事業区域内市有地はC地区で検討していると思われるが、その他の地区で検討しないのはなぜか。仮にC地区で断念して他の候補地となった場合、その他の地区でなぜ検討しなかったのか、必ず市民に求められる。拠点整備部が提供したC地区でのみ検討するのではなく、その他の地区も環境部が主体的に検討すべきである。

市 意見として拝聴する。